

技術情報シート

1. 技術の名称	ストーカ式焼却プラント(JFE ハイパー火格子焼却炉)		
2. 技術の内容	ストーカ焼却炉は、世界で最も多く採用されている都市ごみの熱処理技術であり、わが国でも、最も実績のある技術として、廃棄物中間処理の中心的な役割を果たしています。 JFE ハイパーストーカシステムは、JFE エンジニアリングが独自開発した「ハイパー火格子」を用い、高度な燃焼技術と公害防止技術をお客様に提供しています。		
3. 技術の概要			
技術の目的・用途、技術の特長、実績、価格	【技術の目的・用途】 ストーカ式焼却プラントは、都市ごみを安定して燃焼させ、その熱を発電などにより有効利用するものです。灰にされ衛生化された都市ごみは、約 1/30 に減容化され、最終処分場の衛生処理と延命化に寄与します。		
	【技術の特長】 1960 年代より 40 年以上の実績を持つ当社のストーカ炉は、都市ごみを安全に処理、熱利用して参りました。最新の JFE ハイパーストーカシステムは以下の特徴を有しています。 ・独自の 2 回流炉構造と高度な燃焼制御技術によるダイオキシン発生の抑制 ・良好なごみの送りと攪拌による未燃物発生の最小化 ・高効率発電 ・高度な排ガス処理技術		
	【ストーカ炉の実績】 ・大阪府環境事業局平野工場 900 t/日 (450 t/日×2 炉) 27.4MW 2003 年 3 月竣工 ・横浜市資源循環局金沢工場 1,200 t/日 (400 t/日×3 炉) 35MW 2001 年 3 月竣工 ・台湾／台中市ごみ清掃工場 900 t/日 (300 t/日×3 炉) 14.5MW 1995 年 6 月竣工 全 127 プラントの建設実績。		
	【価格又はその問い合わせ先】 ・海外事業本部 営業部 Tel: +81-45-505-7813、Fax: +81-45-505-7456		
4. 技術の分類			
①用途分類	都市ごみ処理、産業廃棄物処理		
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、食品・生ごみ、建設廃棄物、その他		
③提供役務	プラント建設、機械・機器販売、技術提携・供与、その他		
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	中国、東南アジア諸国、中東諸国、欧州諸国、北米・南米、豪州		
6. 検索キーワード	都市ごみ、ごみ、ストーカ、中間処理、発電、無害化、バイオマス		
7. 問合先窓口・担当者	JFE エンジニアリング株式会社 窓口：海外事業本部営業部 担当：黒岩 綾子 連絡先：電話 +81-45-505-7813 E-mail:kuroiwa-ayako@jfe-eng.co.jp		